

3年生国語科

☆教科書で紹介されている図書 ■おすすめセット文庫
★作者・筆者紹介に掲載されている図書

月	単元名 『教材名』(作者名)	時数	主な学習内容	参考図書
4	詩 『どきん』(谷川俊太郎)	1	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する。	■B04-30『谷川俊太郎・吉村和敏の写真詩集』
	物語 1 読んで、そうぞうしたことをつたえ合おう 『きつつきの商売』(林原玉枝)	8	○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。 ・書かれている様子を思い浮かべながら音読する。 ・「きつつき」が聞かせた音について、叙述を基に具体的に想像する。 ・音を聞いた登場人物の気持ちを、行動や会話、様子から想像して考えて、伝え合う。 ・「3」の場面を作る。	☆『うさぎのなぞなぞ屋』さとうまきこ ☆『キツネのまいもん屋』富安陽子 ☆『あらしのよるに』木村裕一 ■B01-39『あらしのよるに』シリーズ ☆『風の草原』いわむらかずお ★『森のお店屋さん』 ★『ふしぎ屋さん』 ■B01-15『もりはおもしろランド』
	図書館たんていだん	1	・図書館では、内容による本の分類があることを知る。	■D01-5『(紙芝居) ようこそ図書館へ』 D01-6『今日から図書委員 小学校版』 D01-09『学校図書館運営セット』(教師用参考図書) ■A03-02『日本の年中行事』
	春のくらし	1	・生活の中で、春らしさを感じることを挙げる。 ・身の回りで見つけた春を感じたものについて書く。	■A03-02『日本の年中行事』
5	もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために		○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ。 ・友達と話を聞き合うために、自分が話し手として知らせたいことを決めて、ノートに書く。 ・質問の種類や話の聞き方を整理する。 ・友達の話聞いて、質問をする。 ・友達の話や質問とその答えを聞いて、心に残ったことを伝え合う。	
	説明文 2 段落とその中心をとらえて読み、かんそうをちたえ合おう 『言葉で遊ぼう』(小野恭靖) 『こまを楽しむ』(安藤正樹) 【じょうほう】全体と中心	8	○段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える。 ・「言葉で遊ぼう」を読む。 ・「こまを楽しむ」の構成を捉える。 ・遊んでみたいこまについて、ノートにまとめる。 ・一番遊んでみたいこまについて、グループで話し合う。	☆『すてきな日本の伝統1巻 いろいろあそび』 ☆『ことば遊び チャレンジ20』工藤直子 監修 ☆『昔の子どものくらし事典』本間昇 監修 ■A16-9・10『子どもに伝えたい伝承遊び』 ■A16-11『伝承遊びセット』 ■A16-12『むかしからつたわる遊び』 ■A16-13『できる!たのしみ!むかしのあそび』
6	手紙 気もちをこめて「来てください」	6	○相手や目的を意識して、伝えたいことを進んで明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を書く。 ・行事や手紙を送る相手を決め、伝えることを考える。 ・P62「森川さんの手紙」を読んで、手紙の組み立てを確認する。 ・組み立てに沿って手紙を書いて、読み返す。 ・手紙を届ける。	
	物語 3 登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう 『まいごのかぎ』(斉藤倫)	8	○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像する。 ・様子を表す言葉に着目して、不思議な出来事を想像しながら読む。 ・場所と出来事に気をつけて、場面に分ける。 ・物語の最初と最後で「りいこ」にどのような変化があったのか、考える。 ・感想を書く。 ・書いた感想を友達と読み合い、自分の考えとの相違点を伝え合う。	☆『カモメがくれた三かくの海』山下朋生 ☆『おばけ美術館へいらっしやい』柏葉幸子 ☆『とくんとくん』片山令子 ★『せなか町から、ずっと』 ★『とうだい』 ■B02-15『教育画劇の創作童話Bセット』
	俳句 俳句を楽しもう (芭蕉・蕪村・一茶)	1	・どこで区切るかを考えたり、音のリズムを確かめたりなどして、言葉の調子や響きを楽しむ。 ・気に入った俳句や「いろは歌」を、音読したり暗唱したりする。	■A17-17『はじめてえあう俳句と短歌の本』
	【じょうほう】引用するとき	3	○引用のしかたや出典の示し方を理解し使う。	
7	仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など	12	○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考 ・調べたい仕事を決めて、調べる。 ・報告文の組み立てを確認して、報告文を書く。 ・報告文を友達と読み合せて、感想を伝え合う。	
	夏のくらし	1	・生活の中で、夏らしさを感じることを挙げる。 ・身の回りで見つけた夏を感じたものについて書く。	■A03-02『日本の年中行事』
	はじめて知ったことを知らせよう 『鳥になったきょうりゅうの話』(大島英太郎)	5	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。 ・図鑑や科学読み物などの本の種類について知る。 ・「鳥になったきょうりゅうの話」を読む。 ・本を選んで読み、知ったことを発表する。	☆『どうぶつのことば』スティーブ=ジェンキンス 作 佐藤見果夢 訳 ☆『バナナのはなし』伊沢尚子 ☆『学研の図鑑LIVE恐竜』真鍋真 監修 ☆『小学館の図鑑NEO植物』門田裕一 監修 ☆『学研の図鑑LIVE 動物』今泉忠明 監修 ☆『さかなのかたち』なかのひろみ・まつざわ せいじ ☆『鳥の巣いろいろ』鈴木まもる ☆『助けあう生き物の話』今泉忠明 監修 伊藤年一 文 ☆『ここにも、こけが…』越智典子 ☆『ファール昆虫記』J.H.ファール 作 伊藤たかみ 文 ☆『塩の絵本』たかなしひろき 編 ☆『果づくりの名人 スズメバチ』須田貢正 ☆『とりになったきょうりゅうのはなし』大島英太郎 ☆『たねのはなし』ダイアナ=アストン 文 千葉茂樹 訳 ☆『宇宙人っているの?』長沼毅 ★『羽毛恐竜』
9	詩 『わたしと小鳥とすずと』(金子みすず) 『夕日がせなかをおしてくる』(阪田寛夫)	2	・「わたしと小鳥とすずと」と「夕日がせなかをおしてくる」を音読する。 ・二つの詩から、心に残った言葉や表現を見つける。 ・選んだ言葉や表現について友達と話し合う。	■B12-01『子どものための詩の本シリーズ』
	山小屋で三日間過ごすなら	3	・グループでしたいこと、持っていきたい物をたくさん出し合う。 ・グループでしたいことを決めて、持ち物を五つ選ぶ。 ・各グループの話し合いの結果を発表する。	
	ポスターを読もう	2	・ポスターについて知っていることを発表する。 ・P118の「ポスターのれい」を見て、工夫していると思うことを話し合う。 ・P120-121の(ア)(イ)のポスターを比べて読む。	
10	物語 1 場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう 『ちいちゃんのかげおくり』(あまんきみこ)	10	○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。 ・場面ごとに、出来事や登場人物の気持ちを考えながら読む。 ・「ちいちゃんのかげおくり」を読んで感じたことを、理由とともに文章にまとめる。 ・友達と感想文を読み合う。	☆『えんぴつびな』長崎 源之助 ☆『かわいそうなぞう』土家 由岐雄 ☆『おかあさんの木』大川 悦生 ★『車のいろは空のいろ』(『白いぼうし』4年生教材) ★『おにたのぼうし』 ■B02-28『語りつぐ戦争と平和(小学校向け)』 ■B02-54『戦争を知る絵本』 ■B02-55『世界 子ども平和図書館』 ■B02-56『子ども平和図書館』 ■A03-02『日本の年中行事』
	秋のくらし	1	・生活の中で、秋らしさを感じることを挙げる。 ・身の回りで見つけた秋を感じたものについて書く。	■A03-02『日本の年中行事』
	はんで意見をまとめよう	8	○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。 ・司会、記録、計時などの役割を決め、進め方を確かめる。 ・本を一冊に決めるために、グループで話し合う。	

月	単元名 『教材名』(作者名)	時数	主な学習内容	参考図書
11	説明文 2 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう 『すがたをかえる大豆』(国分牧衛) 【じょうほう】科学読み物での調べ方	7	○段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える。 ・文章全体の組み立てに着目して、教材文を読む。 ・「初め」の部分に問いを入れるとしたら、どんな「問い」を入れるかを考えて、ノートに書く。 ・「中」について、段落の順序を表す言葉や中心になる文を確かめながら読む。 ・筆者の説明の工夫をまとめる。 ・食べ物について書かれた本を読み、感想をまとめて、友達に伝える。	☆『魚がへんしん!』香西みどり 監修 ☆『米・麦からつくる食べもの』石谷幸佑 監修 ☆『すがたをかえる食べものずかん』石井克枝 監修 ☆『野菜・くだものからつくる食べもの』石谷幸佑 監修 ■A13-9「身近な食べものひみつ 全7巻」 ■A13-21『きょうからはじめる食育のえほん』 ■A13-2『発見!体験!日本の食事』 ■A13-3『お米なんでも百科』 ■A13-10『たべもの教室』 ■A13-11~15『つくってあそぼう』 ■A13-25『おくむらあやお ふるさとの伝承料理』 ■A13-26『大豆セット』 ■A13-27『大研究!豆のひみつがわかる本』 ■A13-28『大豆のへんしん図鑑』
	作文 『食べ物のひみつを教えます』	8	○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。 ・食材を決め、調べる。 ・調べた内容を整理する。 ・文章の組み立てを考える。 ・説明する文章を書く。 ・友達と文章を読み合い、感想や文章のよいところを伝え合う。	■A17-1『ことわざ・俳句』
	ことわざ・故事成語	2	・ことわざや故事成語について知る。 ・好きなことわざや故事成語を選び、意味と文例をカードにまとめる。	☆『ことわざ絵本』五味太郎 ■A17-1『ことわざ・俳句』
	短歌 短歌を楽しもう	1	・言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返し読む。 ・気に入った短歌を暗唱する。	■A17-17『はじめてであう 俳句と短歌の本』
12	物語 3 組み立てをとらえて、民話をしようかしよう 『三年とうげ』(李錦玉)	6	○登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像する。 ・挿絵を手がかりに場面の様子を読み取り、物語の組み立てを考える。 ・教材文のおもしろいと思ったところをノートに書く。 ・自分が選んだ民話や昔話の内容を確かめる。 ・民話や昔話を紹介する。	☆『世界のむかしばなし』瀬田貞二 ☆『りこうな子ども アジアの昔話』松岡亨子 編・訳 ☆『いたずらおぼけ』瀬田貞二 再話 ☆『天の火をぬすんだウサギ』ジョアンナ=トルロートン 作 山口文生 訳 ☆『スリランカの昔話 ふしぎな銀の木』シビル=ウェッタシンハ 再話・絵 ☆『インドパットの冒険』ルドミラ=ゼーマン 文・絵 ☆『くいしんぼうシマウマ』ムウエニエ=ハディシ 文 草山万兎 訳 ★『へらない稲たば』 ★『おぼけのトケビはわすれんぼう』 ■B02-42『日本にいちばん近い国韓国の絵本』
	たから島のぼうけん	10	○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。 ・P82の地図から想像を広げ、物語の構想を練る。 ・組み立てと場面の様子を考える。 ・考えた組み立てに沿って物語を書き、読み返す。 ・できあがった物語を読み合う。	
	冬のくらし	1	・生活の中で、冬らしさを感じることを挙げる。 ・身の回りで見つけた冬を感じたものについて書く。	■B02-11『川端誠 絵本セット』(10 十二支のおせち料理)
1	詩 詩のくふうを楽しもう 『からはおもくて…』(和田誠) 『ことばはつなぐ…』(はせみつこ) 『あした』(石津ちひろ) 『たいこ』(谷川俊太郎) 『なみ』(内田麟太郎) 『かいだん』(関根栄一)	4	○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをも ・6編の詩を音読する。 ・これまでに読んだことのある詩の中から、おもしろい工夫だと思えるものを見つけ、紹介する文章を書く。あるいは、6編の詩で見つけた工夫を使って、詩を創作する。 ・書いた文章や作った詩を友達と読み合い、交流する。	☆『かさぶたって どんなぶた』小池昌代 編 ☆『ことばあそびうた』谷川俊太郎 ■B12-1『子どものための詩の本シリーズ』 ■B12-2『金子みすゞ詩集・絵本のセット』 ■B12-3『しの絵本』
	説明文 4 読んで感想をもち、つたえ合おう 『ありの行列』(大滝哲也)	7	○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。 ・論理の展開に着目して、教材文を読む。 ・文章を読んで思ったこと、考えたことを文章に書く。 ・書いた文章を友達と読み合う。	☆『なぜ? どうして? 科学のお話3年生』大山光晴 総合監修 ☆『まちぼうけの生態学』遠藤知二 ☆『むしこぶ みつけた』新開孝 観察したり、実験したりしたことを書いた科学読み物 『ドキドキいっぱい! 虫のくらし写真館5アリ』(海野和男/写真) 『科学のアルバム アリの世界』(栗林慧) 『アリ』(久保田政雄) 『お姫さまのアリの巣たんけん』(秋山亜由子)
2	つたわる言葉で表そう	5	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにする。 ・冬休みの出来事とそのときの気持ちを200字で書き、友達と読み合う。	
	これがわたしのお気に入り	12	○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。 ・作品を選び、くわしく書き出す。 ・組み立てメモを書く。 ・紹介する文章を書く。 ・書いた文章を読み合い、書き方や内容の面から感想を伝え合う。	
3	物語 5 登場人物について、話し合おう 『モチモチの木』(斉藤隆介)	12	○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像する。 ・登場人物の性格や気持ちを考える。 ・「豆太」の気持ちの変化や性格について、感じたことや考えたことを、友達と話し合う。	☆『ソメコとオニ』斉藤隆介 ☆『半日村』斉藤隆介 ☆『花さき山』斉藤隆介 ★『ペロ出しチョンマ』斉藤隆介 ★『ユとムとヒ』斉藤隆介 ■C03-04(大型絵本)1『ひさの星』3『半日村』5『モチモチの木』6『花さき山』
	読書 本の世界を広げよう	上	☆『どんなかんじかなあ』中山千夏 ☆『ココロ屋』梨屋アリエ ☆『島ひきおに』山下明生 ☆『としょかんライオン』ミシエル=ヌードセン 作 福本友美子 訳 ☆『100円たんけん』中川ひろたか ☆『いのちのいれもの』小菅正夫 ☆『ドングリ山のやまんばあさん』富安陽子 ☆『どうぶつがっこう』トビイルツ ☆『こころのふしぎ たんけんえほん』平木典子 監修	☆『ラボラボラ』ふくだ ゆきひろ ☆『むし歯のもんだい』北川原 健・柳生 弦一郎 ☆『一生の図鑑』学研プラス ☆『糸あそび 布あそび』田村寿美恵 ☆『数え方のえほん』高野紀子 ☆『こども大百科 キッズベディア』 ☆『たまごのはなし』ダイアナ=アストン 文 千葉茂樹 訳 ☆『もっと・しごとば』鈴木 のりたけ ☆『とまたち』谷川俊太郎 ☆『ぞうのミミカキ』まど・みちお ☆『あるひ あひるが あるいていると』二宮由紀子
巻末		下	☆『わすれられない おくりもの』スーザン=パーレイ 作 小川仁央 訳 ☆『アイヌのむかしばなし ひまなこなべ』萱野茂 ☆『おにぼう』くすのき しげのり ☆『火曜日のごちそうはヒキガエル』ラッセル=E=エリックソン 作 佐藤涼子 訳 ☆『かあちゃん取扱説明書』いとう みく ☆『読書マラソン、チャンピオンはだれ?』クラウディア=ミルズ 作 若林千鶴 訳 ☆『キュッパのはくぶつかん』オーシル=カンスタ=ヨンセン 作 ひだに れいこ 訳	☆『たのしく読める 世界のすごい歴史人物伝』伊藤 純郎 監修☆『干し柿』西村 豊 ☆『生き物たちの冬ごし図鑑 昆虫』星 輝行 ☆『ふくはなからできての?』佐藤哲也 ☆『ダンゴウオの海』鍵井靖章 ☆『ぼくの自然観察記 ロゼットのたんけん』おくやま ひさし ☆『おいしい根っこ』中野明正 編著/根研究学会 協力/小泉光久 文 ☆『これってどうちがうの!? ① 身近なもののちがいがい』深 圭助 監修 ☆『カタカナ ダイボウケン』宮下すずか ☆『十二支のことわざえほん』高島 純